

第 章

景観形成のための施策の方向 (区全域・地区別)

I. 区全域に関わる施策の方向

1. 道路等の修景や緑化の推進

(1) 課 題

- 緑化推進等による道路の潤い創出
- 商店街等の賑わい景観の演出
- 安全に楽しく歩ける歩行空間の確保
- まち角の公共スペースを活用した修景
- 違反広告物や不法占拠物が景観を阻害
- 拠点を結ぶ水と緑のネットワークの形成

(2) 施策の方向

道路等の修景や緑化の推進

区民が楽しく、かつ安全に歩けるような歩行空間を創造するとともに、統一感と連続性のある道路景観の形成に努める。また、沿道緑化の推進により潤いある道路景観の創造に努める。

(3) 施 策

いま行なっている施策（いままで行なっている施策）

- 道路（補助 18・26・46・163・205 号線等）整備に合わせた修景整備
- 道路等の緑化の推進
- 公共サインの整備
- コミュニティ道路の整備
- 商店街の架空線の地中化
- 商店街のカラー化
- 高架下壁面美化
- 架空線の地中化

これから行なっていく施策

- 細街路の拡幅事業に応じた修景整備
- 道路付属物（防護策・街路灯・カーブミラー等）の修景整備



街角の修景整備（八潮団地）

2 . 河川、運河の修景や緑化の推進

(1) 課 題

- 潤いと安らぎを感じる水辺景観の創出
- 拠点を結ぶ水と緑のネットワークの形成

(2) 施策の方向

河川、運河の修景や緑化の推進

運河沿いの緑化や親水性の向上を図り、区の特徴であるウォーターフロント景観の向上に努める。河川沿いの修景を図り、潤いと安らぎのある水辺景観の創造に努める。

(3) 施 策

いま行なっている施策（いままで行なっている施策）

- 目黒川沿いの修景整備
- 立会川沿いの修景整備
- 京浜運河・勝島運河沿いの修景整備
- 既存のプロジェクトや関係団体との協働による景観づくり
- 河川の浄化対策
- 河川環境美化運動
- 河川・運河沿いの緑道整備

これから行なっていく施策

- 運河を活用したアミューズメントエリアの整備



ウォーターフロントの修景整備（天王洲）

3 . 景観づくりをリードする公共施設の修景

(1) 課 題

- 区民や事業者のモデルとなるような取り組みが必要
- 区の公共施設の先導的な修景

(2) 施策の方向

景観づくりをリードする公共施設の修景

学校の緑化や公園の整備・再整備等を積極的に推進し、区民や事業者の景観意識を高めるような公共施設の修景に努める。

(3) 施 策

いま行なっている施策（いままで行なっている施策）

- 公共施設の緑化推進
- 魅力ある公園づくり
- 学校の屋上緑化の推進

これから行なっていく施策

- 公共施設の改修に応じた景観配慮
- 身近な公園の新設
- 学校施設の計画的改修に応じた景観配慮



西五反田高齢者等複合施設

4 . 統一感ある景観誘導

(1) 課 題

- 住工混在地区等における統一性ある景観誘導
- 違反広告物や不法占拠物が景観を阻害
- 建築物の改装・新設における周辺景観との調和への配慮

(2) 施策の方向

統一感ある景観誘導

周辺景観との調和への配慮や、景観阻害要因の排除・規制に取り組み、高さや色彩等統一感ある景観誘導に努める。

(3) 施 策

いま行なっている施策（いままで行なっている施策）

- 公共サインの整備
- 道路の不正使用等の是正
- 違反広告物等の除却
- 違法駐車防止対策の推進
- 放置自転車対策の推進
- 中高層建築物等の建設に係る開発環境指導

これから行なっていく施策

- 新たな屋外広告物の規制
- 建築物等の色彩への配慮
- 商店街における統一看板の誘導



洗練され統一感のある公共サイン（天王洲）

5 . にぎわいのある景観づくり

(1) 課 題

- 景観づくりにおいては暮らしの中で人と人が出会い、集い、心の豊かさを感じられる地域のにぎわいを生み出すことが必要

(2) 施策の方向

にぎわいのある景観づくり

人びとが集まり、様々な活動の場を創出するために、地域の活性化の向上に努める。

(3) 施 策

いま行なっている施策（いままで行なっている施策）

- 活力ある商店街づくりへの支援
- 小規模商店街の活性化支援
- 産業振興と連動したまちづくりの推進
- まち角花壇の整備・維持管理

これから行なっていく施策

- 文化施設の整備・充実
- 文化資源の保護
- 都市型観光推進事業と連動したまちづくりの推進



人々の誘導を誘う商店街のまちなみ整備（武蔵小山商店街）

6 . 人にやさしい景観づくり

(1) 課 題

- 景観づくりにおいては誰もが安心して集い・憩うことへの配慮が必要
- 特に、公共施設やそれに付随する施設における高齢者・障害者への配慮が必要

(2) 施策の方向

人にやさしい景観づくり

景観は、そこに暮らし、集う全ての人々が共有するものであることから、公共施設を中心とした景観づくりにおいては、高齢者や障害者への配慮に努める。

(3) 施 策

いま行なっている施策（いままで行なっている施策）

- 鉄道駅エレベーター等の整備促進
- 道路等のバリアフリー化・段差解消・歩道の平坦化
- 視覚障害者用誘導ブロック敷設工事

これから行なっていく施策

- 公園や緑道整備に合わせたユニバーサルデザインの導入（ベンチ等）
- 芳香・花・果実が楽しめる樹木の導入



ユニバーサルデザインの道路整備（小山七丁目）

7. 環境に配慮した景観づくり

(1) 課題

- 景観づくりにおいては単に美しさを追求するのみではなく環境への配慮が必要
- 環境に優しい材料を用いた景観づくりが必要

(2) 施策の方向

環境に配慮した景観づくり

今後の景観づくりにおいては、単なる美しさを求めるのではなく、環境負荷に関しても意識し、緑を積極的に導入することや環境に優しい材料を用いるなど環境基本計画と協調を図りながら環境配慮に努める。

(3) 施策

いま行なっている施策（いままで行なっている施策）

- 屋上や壁面等の緑化の推進
- オープンスペース等における緑化推進
- 低騒音舗装道路の普及・促進
- 透水性舗装への改善
- 廃材リサイクル品使用の推進
- リサイクル可能な材料の使用

これから行なっていく施策

- 環境にやさしい道路づくりの推進



品川区役所屋上緑化

8 . 景観づくりの普及・啓発活動の展開

(1) 課 題

- 良好な景観を形成するためには区民や事業者の協力が必要
- 区民や事業者の景観に対する意識の向上が必要

(2) 施策の方向

景観づくりの普及・啓発活動の展開

区民、事業者、行政の協働による景観づくりを推進するため、景観に関わる各種普及・啓発活動や教育機関と連携した景観に関する学習の展開に努める。また、専門家等のアドバイスを受けながら、区民や事業者と一体となった景観づくりに努める。

(3) 施 策

いま行なっている施策（いままで行なっている施策）

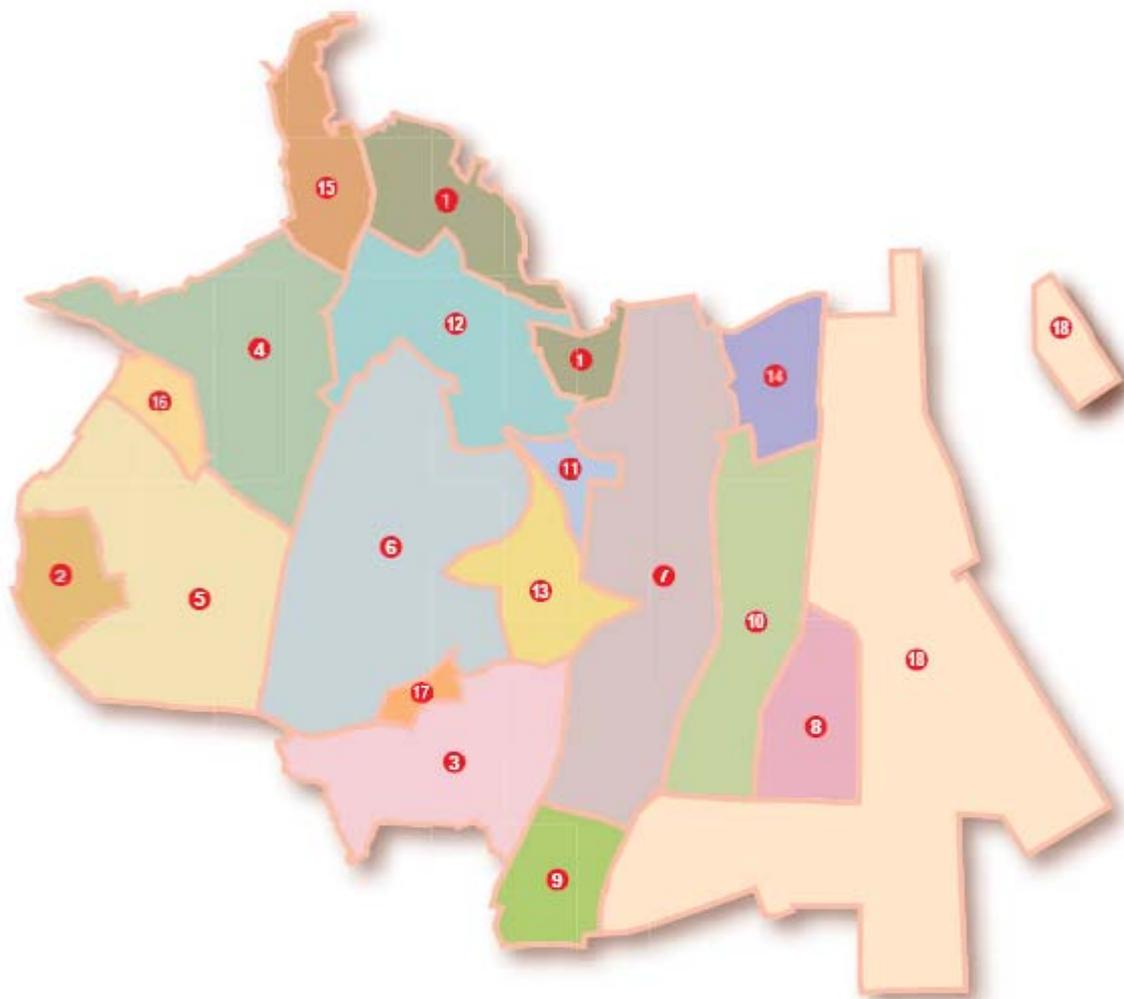
- 地域の緑化運動と花のあるまちづくりの支援

これから行なっていく施策

- 区民の自主的な景観まちづくり活動への支援・誘導
- 景観アドバイザー制度の導入
- イベント・フォーラムの開催
- 既存の景観資源のPR推進（景観ネットワークマップの作成、「しながわ百景」の改訂）
- 教育機関における景観に関する学習の推進
- 景観マネジメントシステムによる運用管理
- 景観アセスメントによる事業評価



II. 地区別の方針の方向



地区	特徴的な景観資源
① 池田山・御殿山地区	清泉女子大学、五反田公園の石畳と桜並木、池田山公園 など
② 旗の台六丁目周辺地区	小山八幡宮
③ 大井七丁目周辺地区	光福寺の大イチョウ、品川歴史館、大森貝塚遺跡公園 など
④ 荏原北地区	早稲科大学の講堂、かむろ坂の桜並木、戸越銀座商店街 など
⑤ 荏原南地区	中延商店街、西小山桜並木通り、立会川緑道
⑥ 戸越公園周辺地区	戸越銀座商店街、戸越八幡神社、戸越公園と国文学研究資料館の緑 など
⑦ 旧東海道～東大井地区	旧東海道、しながわ花海道、エンジュの並木のゼームス坂通り、立会川緑道 など
⑧ 八潮団地地区	八潮橋、京浜運河緑道公園、八潮団地 など
⑨ 南大井周辺地区	鈴ヶ森形塚跡と大経寺、桜新道の桜並木、大森ベルポート など
⑩ 東屋川地区	シーサイドフォレスト、しながわ花海道 など

⑪ 広町一丁目地区	赤レンガ造りのボイラー工場 など
⑫ 大崎・五反田地区	目黒川沿いの桜並木、大崎ニューシティ・ゲートシティ大崎、オーバルコート大崎 など
⑬ 大井町駅周辺地区	大井町駅周辺の新しいまち並み、エンジュの並木のゼームス坂通り、しながわ中央公園など
⑭ 天王洲地区	天王洲アイルのボードウォーク、東屋川海上公園、天王洲アイルのまち並み など
⑮ 目黒駅周辺地区	花岡山の桜並木、目黒川沿いの桜並木など
⑯ 武蔵小山駅周辺地区	武蔵小山パルム商店街 など
⑰ 西大井駅周辺地区	西大井駅とその周辺 など
⑱ 臨海部埋立地区	船の科学館、大井競馬場、しながわ区民公園と水族館、大井埠頭コンテナバース など

1 . 池田山・御殿山地区



【清泉女子大の量感のある緑】



【御殿山を包み込む斜面緑地】

(1) 景観特性

【歴史・文化】

- 徳川家康の鷹狩りの御殿があったという由来により、旧財閥の邸宅地とされ、池田山、御殿山は高級住宅地のイメージを受け継いでいる。しかし、昨今中層の集合住宅の建設が進み、従来の閑静な市街地景観は変容しつつある。
- 主な文化財としては、雉子神社のイチョウ、清泉女子大学のフウ、清岸寺のサクラ、上大崎貝塚があり、また、主な景観資源として、清泉女子大学（旧島津公爵邸）、池田山公園（旧岡山藩主池田家下屋敷）、五反田公園の石畳と桜並木がある。

【自然】

- 当地区の代表的な公園は、池田山公園が旧岡山藩池田家下屋敷跡を整備し鑑賞型公園（特殊公園）として整備された。また、当地区は、高輪台起伏のある地形は斜面の緑地残し、御殿山地区は区内でも高い緑被率を示す。
- 敷地の大きな住宅地では、沿道部の緑化を推進しており、良好な道路景観も見られる。
- 遠方の樹木が自然のスカイラインを形成し、建物はそれを分断することなく立地しており、少ない自然要素がうまく活かされている。

【生活】

- 池田山公園及び清泉女子大学周辺は落ち着いた雰囲気の高級住宅地で、周辺に隣接する住宅の敷地面積も広い。また、マンション等の

集合住宅も形態・色彩に配慮がなされ、建築デザイン、アースカラーの導入が見られる。

(2) 都市計画・まちづくりの構想など

- 北品川四丁目特定街区

景観資源および新たなまちづくり

景観資源	清泉女子大学、五反田公園の石畳と桜並木、芝増上寺子院群、御殿山ヒルズの緑と原美術館、池田山公園、新八ッ山橋（品川教会方面を望む）	
新たなまちづくり	まちの骨格	-
	拠点	-
	ゾーン	-

(3) 課 題

- 中層以上の集合住宅やオフィスビル等の景観への配慮
- 現在の生活に密着した優れた住宅地景観を保全と景観向上のための沿道緑化の推進
- 大規模緑地や歴史的な景観資源の保全

(4) 施策の方向

閑静な住宅地景観と教育・文化景観の保全・創造

品川区を代表する閑静な住宅地であるとともに、教育・文化、歴史的な資源に恵まれた地区である。教育・文化・歴史的な資源の修景とともに、斜面緑地の保全や沿道緑化の推進などを通じた良好な住宅地景観の維持に努める。集合住宅やオフィスビルなど建築物の新設に際しては、既存制度を活用するなど、現景観の保全に努める。

(5) 施 策

いま行なっている施策（いままで行なっている施策）

- みどりの条例を活用した保存樹木の指定
- 緑豊かなまちなみづくり事業（生垣助成）を活用した沿道緑化の推進

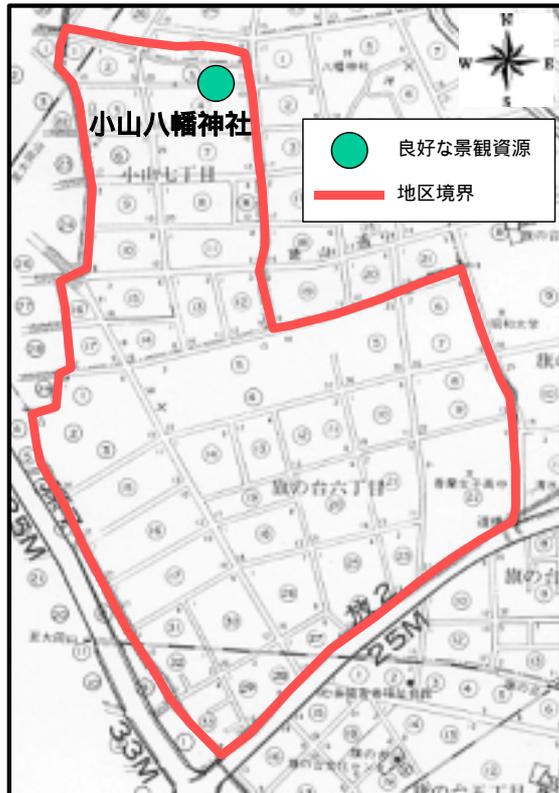
これから行なっていく施策

- 歴史的景観資源の保全と修景
- 教育・文化施設の保全と修景
- 斜面緑地の保全
- 地区計画¹や建築協定²による景観誘導
- 区民の自主的なまちづくり活動への支援（緑化活動の展開）

¹ 資料編 P.4 を参照

² 資料編 P.5 を参照

2 . 旗の台六丁目周辺地区



【修景されたコミュニティ道路】



【敷地内緑地の多い住宅地景観】

(1) 景観特性

【歴史・文化】

- 昭和に入ってから住宅分譲を核とし、市街化が進んだ。昭和50年代までは一戸建て主とした低層住宅地であったが、近年、木賃アパートの立て替えが一部で見られるようになった。
- 主な文化財としては、小山八幡神社のシイがある。また、荏原七福神めぐりの中の2ヶ所（摩耶寺、小山八幡神社）がある。

【自然】

- 当地区は規模の大きい公園・緑地がないにもかかわらず、緑被率は20%程度の高い値を示している。
- 住宅敷地内の緑、沿道の生け垣など目に映る緑は多い。
- 市街地内の道路は、コミュニティ道路として修景されるなど、住環境保全への配慮がみられ、景観上も良質な空間が形成されている。

【生活】

- 商業機能は、他地区の洗足駅前と旗の台駅前の商店街に依存している。
- 良質な一戸建て住宅が多く、落ち着いた市街地景観を有している。

(2) 都市計画・まちづくりの構想など

•

景観資源および新たなまちづくり

景観資源		小山八幡神社
新たなまちづくり	まちの骨格	-
	拠点	-
	ゾーン	-

(3) 課 題

<ul style="list-style-type: none">現在の生活に密着した優れた住宅地景観を保全と景観向上のための沿道緑化の推進景観に潤いを提供する公園緑地整備
--

(4) 施策の方向

閑静な住宅地景観の保全

住宅敷地の樹木や生け垣などを保全・育成、道路・交差点などの公共スペースの修景及び新たなオープンスペースの確保に努める。集合住宅やオフィスビルなど建築物の新設に際しては、既存制度を活用するなど、現景観の保全に努める。

(5) 施 策

<p>いま行なっている施策（いままで行なっている施策）</p> <ul style="list-style-type: none">みどりの条例を活用した保存樹木の指定緑豊かなまちなみづくり事業（生垣助成）を活用した沿道緑化の推進住宅敷地内の緑化推進 <p>これから行なっていく施策</p> <ul style="list-style-type: none">地区計画³や建築協定⁴による景観誘導住民の緑化意識向上のためのチラシ等の作成・配布道路・交差点における公共スペースの修景公園緑地の確保区民の自主的なまちづくり活動への支援（緑化活動の展開）
--

³ 資料編 P.4 を参照

⁴ 資料編 P.5 を参照

3 . 大井七丁目周辺地区



【まとまりを有する社寺の樹林(鹿島神社)】



【落ち着いた雰囲気 of 交差点の修景整備】

(1) 景観特性

【歴史・文化】

- 明治後期から大正時代に市街化が進んだ比較的古い市街地である。一戸建てを主体とした市街地であったが、高度成長期に木賃アパートが多く建設され、敷地の細分化も進み小規模の一戸建て住宅とアパートが混在する市街地が形成された。
- 主な文化財としては、JR 東海道線沿いの斜面地に仙台坂遺跡、大井鹿島遺跡、大森貝塚があり、また、景観資源としては、品川歴史館、鹿島神社等とタブの木、大森貝塚遺跡庭園（一部国の史跡に指定）、養玉院がある。さらに、養玉院は荏原七福神めぐりの一つである。

【自然】

- 地区全体で緑被率は10%以上を示し、区内においては比較的高い値を示している。特徴的な公園として、大森貝塚遺跡庭園（日本の考古学発祥の地としてその歴史性を十分に発揮した公園）がある。

【生活】

- 交差点には、ポケットパーク（児童遊園）等が数カ所みられ、空間的な広がりの特徴のある景観を創出している。

(2) 都市計画・まちづくりの構想など

•

景観資源および新たなまちづくり

景観資源		光福寺の大イチョウ、品川歴史館、鹿島神社、大森貝塚遺跡庭園、養玉院
新たなまちづくり	まちの骨格	-
	拠点	-
	ゾーン	-

(3) 課 題

<ul style="list-style-type: none">中層以上の集合住宅やオフィスビル等の景観への配慮現在の生活に密着した優れた住宅地景観を保全と景観向上のための沿道緑化の推進点在する緑地を活かした景観形成
--

(4) 施策の方向

生活に密着した優れた住宅地環境の保全と誘導 敷地内の緑や点在する緑地の保全活用と道路修景の推進による住宅地景観の創造に努める。狭隘道路及び交差点等の修景整備による個性的な景観の創造に努める。集合住宅やオフィスビルなど建築物の新設に際しては、既存制度を活用するなど、現景観の保全に努める。

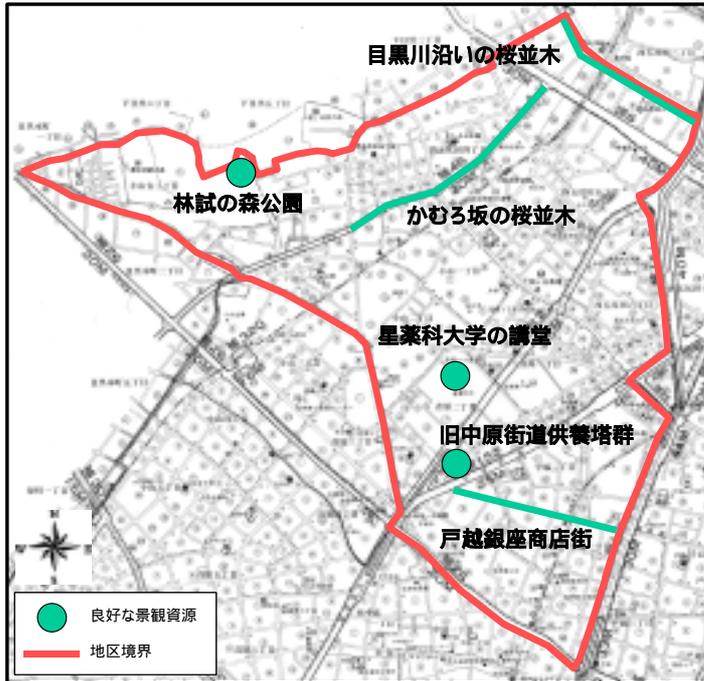
(5) 施 策

<p>いま行なっている施策（いままで行なっている施策）</p> <ul style="list-style-type: none">みどりの条例を活用した保存樹木の指定緑豊かなまちなみづくり事業（生垣助成）を活用した沿道緑化の推進住宅敷地内の緑化推進 <p>これから行なっていく施策</p> <ul style="list-style-type: none">大規模緑地の保全と修景歴史的景観資源の保全と修景狭隘道路沿いの植木鉢・プランターによる緑化推進交差点の修景住民の緑化意識向上のためのチラシ等の作成・配布地区計画⁵や建築協定⁶による景観誘導

⁵ 資料編 P.4 を参照

⁶ 資料編 P.5 を参照

4 . 荏原北地区



【かむろ坂】



【戸越銀座商店街】

(1) 景観特性

【歴史・文化】

- 古くからの住工混在地域で、ここ 20 年間は、町工場から中高層集合住宅への立て替えが進んでおり、五反田に近い地域では大規模なビルへの転換もみられる。現在は、工場よりも住宅の方が多く、今後も中高層住宅の建設は進むものと思われる。
- 主な文化財としては、旧中原街道供養塔郡などの供養塔が点在している。主な景観資源としては、かむろ坂の桜並木、目黒川沿いの桜並木、量感のある緑を有する林試の森公園、星薬科大学の講堂がある。

【自然】

- 地区の西側に小山台公園（近隣公園）と林試の森公園（総合公園）が存在し、この周辺だけは緑被率 20% 以上の高い値を示すが、その他は 5 ~ 10% 程度である。

【生活】

- 東急沿線の駅前の商店街が多く、その中でも戸越銀座商店街は都内でも有数の規模を持つ。

(2) 都市計画・まちづくりの構想など

- 補助 26 号線地区都市防災不燃化促進事業
- 補助 46 号線品川地区都市防災不燃化促進事業
- 荏原北西五反田地区防災生活圈促進事業

景観資源および新たなまちづくり

景観資源	星薬科大学の講堂、目黒川沿いの桜並木、かむろ坂の桜並木、旧中原街道供養塔群、林試の森公園、戸越銀座商店街	
新たなまちづくり	まちの骨格	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水とみどりのネットワーク (目黒川沿い、東急目黒線沿い、補助26号線)
	拠点	-
	ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ■ にぎわいゾーン(戸越銀座) ■ いこいのゾーン(林試の森公園)

(3) 課題

- 都市基盤整備にあわせた緑化率の向上
- 防災まちづくりの展開にあわせた接道部緑化等の推進
- 豊富な景観資源や拠点の連続性を確保

(4) 施策の方向

緑化率の向上を意図した潤いある住宅地環境の形成

相対的に緑の少ない地域であることから、都市基盤整備や防災まちづくりと合わせた緑化率の向上に努める。狭隘道路及び交差点等の修景整備による個性的な景観の創造に努める。また目黒川、かむろ坂等を活用し、水と緑のネットワークの形成を進める。

(5) 施策

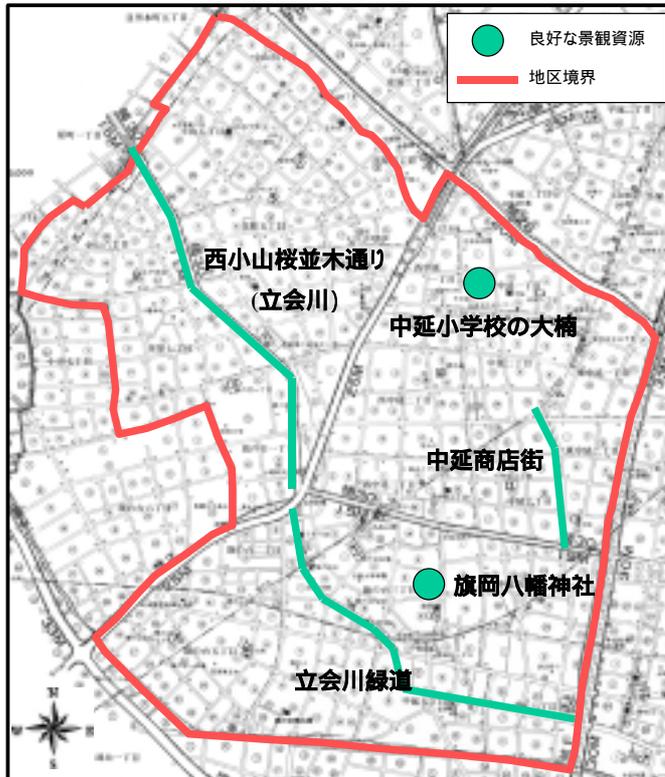
いま行なっている施策(いままで行なっている施策)

- みどりの条例を活用した保存樹木の指定
- 緑豊かなまちなみづくり事業(生垣助成)を活用した沿道緑化の推進
- 壁面や屋上等の緑化の推進
- 住宅敷地内の緑化推進
- 目黒線上部の緑道整備
- 狭隘道路の整備

これから行なっていく施策

- 地区計画や建築協定による景観誘導
- 狭隘道路沿いの植木鉢・プランターによる緑化推進
- 敷地規模の規制
- 目黒川・かむろ坂・立会川沿いの修景整備
- 防災まちづくりに応じた景観配慮

5 . 荏原南地区



【小山台周辺の混在地区】

(1) 景観特性

【歴史・文化】

- 大半が昭和の初期に市街化された地区で、街区内部では敷地の細分化が進み、狭隘道路が随所にみられる。西小山、旗の台、中延、荏原町等の駅周辺には、近隣商店街が発達しており利便性の高い地区である。敷地の細分化や建物の更新による土地利用転換があまり進んでいない。
- 主な文化財は、荏原館跡、葛原神社のボダイジュ、西小山桜並木通り、立会川緑道、旗岡八幡神社、中延小学校の大楠がある。また、荏原七福神めぐりの一つ法蓮寺がある。

【自然】

- 規模の大きい公園緑地はなく、緑被率は5～10%未満が多い。

【生活】

- 中延商店街をはじめとする多数の商店街があり、活気のあるまち並みとなっている。

(2) 都市計画・まちづくりの構想など

- 旗の台一丁目特定街区
- 旗の台・中延地区密集住宅市街地整備促進事業

景観資源および新たなまちづくり

景観資源	中延小学校の大楠、中延商店街、西小山桜並木通り、立会川緑道、旗岡八幡神社	
新たなまちづくり	まちの骨格	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水とみどりのネットワーク (東急目黒線沿い、立会道路、補助26号線)
	拠点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域生活拠点(旗の台駅周辺)
	ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ■ 居住推進ゾーン(旗の台駅周辺) ■ にぎわいゾーン(武蔵小山～西小山、戸越銀座、中延～戸越公園、旗の台～荏原町)

(3) 課 題

- 民有地緑化の推進
- 都市基盤整備にあわせた緑化率の向上
- 防災まちづくりの展開にあわせた接道部緑化等の推進

(4) 施策の方向

緑化率の向上を意図した潤いある住宅地環境の形成

相対的に緑の少ない地域であることから、都市基盤整備や防災まちづくりと合わせた緑の確保に努める。狭隘道路及び交差点等の修景整備による個性的な景観の創造に努める。立会川等を活用し、水と緑のネットワークの形成を進める。商店街では、賑わいと潤いが調和した景観形成を目指し、商店街の方と協働で修景整備を展開する。

(5) 施 策

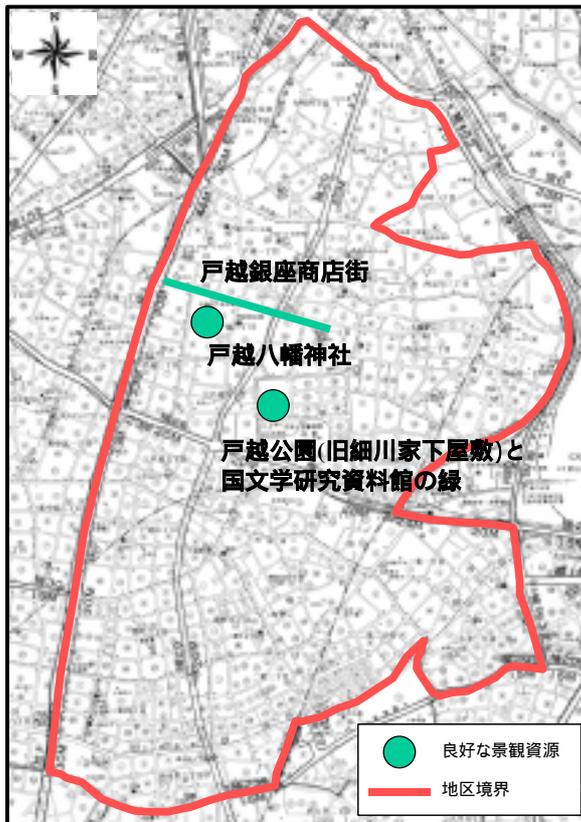
いま行なっている施策(いままで行なっている施策)

- みどりの条例を活用した保存樹木の指定
- 緑豊かなまちなみづくり事業(生垣助成)を活用した沿道緑化の推進
- 住宅敷地内の緑化推進
- 壁面や屋上等の緑化の推進
- 狭隘道路の整備
- 西小山駅前広場の整備に応じた景観配慮
- 商店街の修景整備

これから行なっていく施策

- 地区計画や建築協定による景観誘導
- 狭隘道路沿いの植木鉢・プランターによる緑化推進
- 敷地規模の規制
- 防災まちづくりに応じた景観配慮

6 . 戸越公園周辺地区



【戸越公園は都市におけるオアシスの存在】



【戸越銀座商店街】

(1) 景観特性

【歴史・文化】

- 昭和初期に急速に市街化が進み、戦後から昭和40年代にかけては各種工場が数多く立地したが、現在は移転や廃業により工場用地は僅かである。戸越公園周辺の地区では、中規模な集合住宅への建て替えが進んでいる。
- 主な文化財としては、戸越八幡神社のケンポナシ、伊藤博文墓等、主な景観資源としては、戸越公園（旧細川家下屋敷）と国文学研究資料館の緑があげられる。また、荏原七福神めぐりの上神明天祖神社と東光寺の2箇所がある。

【自然】

- 主な公園緑地としては、区を代表する公園である戸越公園（肥後国熊本藩細川家下屋敷後の一部を利用した=近隣公園）があるのみで、緑被率は5～10%未満となっている。

【生活】

- 商店街は、都内でも有名な戸越銀座商店街があり、活発な商業活動が行われている。

(2) 都市計画・まちづくりの構想など

- 戸越一丁目地区地区計画
- 戸越1・2丁目地区密集住宅市街地整備促進事業
- 補助26号線地区都市防災不燃化促進事業

景観資源および新たなまちづくり

景観資源	戸越八幡神社、戸越公園と国文学研究資料館の緑、戸越銀座商店街	
新たなまちづくり	まちの骨格	■ 水とみどりのネットワーク（立会道路、補助26号線）
	拠点	-
	ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ■ にぎわいゾーン（戸越銀座、中延～戸越公園） ■ いこいのゾーン（戸越公園と国文学資料館）

(3) 課題

- 戸越公園周辺地域の修景
- 商店街の賑わいと活気に満ちたまち並み景観のより一層の向上
- 防災まちづくりの展開にあわせた接道部緑化等の推進
- 豊富な景観資源や拠点の連続性を確保

(4) 施策の方向

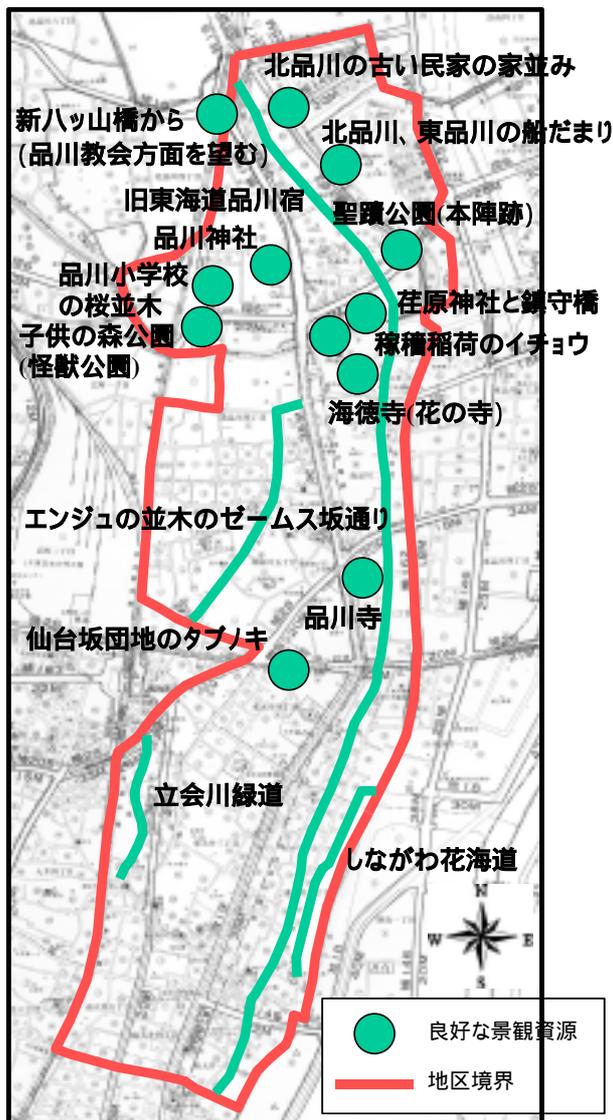
歴史的景観資源を活かしたまち並みの再生

地域の歴史的景観資源である戸越公園の周辺において、防災まちづくりと一体となったオープンスペースの確保と緑化の推進に努める。戸越銀座商店街は、地域の賑わい景観としてより一層の修景整備を行う。その他の小規模商店街では、その庶民性を残しつつ、修景整備を行っていく。

(5) 施策

- いま行なっている施策（いままで行なっている施策）
- みどりの条例を活用した保存樹木の指定
 - 住宅敷地内の緑化推進
 - 壁面や屋上等の緑化の推進
 - 地区計画や建築協定による景観誘導
 - 商店街の修景整備
- これから行なっていく施策
- 戸越公園周辺のまち並み整備
 - 電線類の地中化
 - 区民の自主的なまちづくり活動への支援（緑化活動の展開）
 - 防災まちづくりに応じた景観配慮

7. 旧東海道～東大井地区



【聖蹟公園】



【旧東海道の商店街の町並み】

(1) 景観特性

【歴史・文化】

- 江戸時代までは、旧東海道付近まで海岸線であり、明治に入るまで宿場町として栄えた。昭和に入り、徐々に埋め立てが始まり、昭和10年代には東品川2丁目から東大井1丁目にかけて埋立整備が始まり、芝浦運河が形成された。区内では最も早く市街化された地域のひとつで、江戸時代には宿場町として既に市街化されており、京浜急行の開通とともに、典型的な下町の住工混在地域と専用工場主体の地域とに分かれて発展したが、近年では中高層集合住宅への立て替えが目立つ。
- 江戸時代には五街道で最も交通量の多い賑わいのあるまちとして栄え、神社仏閣と海辺の風光明媚な地として人気のある地域であった。

- 5月から始まる夏祭り、9月から始まる秋祭りのほとんどが旧東海道沿いに立地している神社を中心に行われている。また、都内でも有名な東海七福神は、旧東海道及び京浜第一国道沿いに点在し、大田区内の磐井神社（弁財天）を除き、当地区には6箇所の七福神がある。古くから七福神は祀られ「七難即滅 七福即生」の故事により参詣も多く、昭和7年に品川が大東京に編入された記念として東海七福神新詣が定められた。
- 景観資源としては、北品川の古い民家の家並み、旧東海道品川宿、旧東海道沿いの寺社があげられる。

【自然】

- 公園緑地は旧東海道沿いに、品海公園や聖蹟公園等の当地区の歴史とゆかりのある公園が整備され、当地区の歴史的な雰囲気をもっと高めている。また、地区中央部に大井公園（東大井四丁目）が整備されている。緑被率は区内の平均的な値である。
- 旧東海道沿いは、老朽化した宅地が密集して緑は少なく、緑を創出する余地も少ない。聖蹟公園、子どもの森公園など特色のあるオープンスペースが見られる。
- 勝島運河は、桜並木とともに区民に親しまれる景勝地である。堰堤の斜面には、周辺住民によって花が植えられ、景観向上のための運動も根付いている。

【生活】

- 商店街は旧東海道、ゼームス坂、大井町駅前地区、ヘルマン坂から桜新道に連なり配置され、活発な商業活動が行われている。
- 東大井地区は町工場と住宅が混在し、細街路も多く雑然としている。

(2) 都市計画・まちづくりの構想など

- 品川駅東口地区地区計画
- 旧東海道品川宿周辺整備基本計画
- 放射19号沿線地区等整備構想
- 臨海景観基本軸⁷（東京都景観条例）

景観資源および新たなまちづくり

景観資源	稼穡稲荷のイチヨウ、仙台坂団地のタブノキ、品川小学校の桜並木、エンジュの並木のゼームス坂通り、北品川・東品川の船だまり、北品川の古い民家の家並み、聖蹟公園（本陣跡）、荏原神社と鎮守橋、品川神社、子供の森公園（怪獣公園）、海徳寺（花の寺）、品川寺、旧東海道品川宿、しながわ花海道、立会川緑道、新八ッ山橋から（品川教会方面を望む）	
新たなまちづくり	まちの骨格	■ 水とみどりのネットワーク （目黒川沿い、立会道路、補助26号線）
	拠点	■ 地域生活拠点（品川駅周辺）
	ゾーン	■ 居住推進ゾーン（品川駅周辺、立会川駅周辺） ■ にぎわいゾーン（旧東海道沿道） ■ いこいのゾーン（勝島運河入り江）

⁷ 資料編 P.6～10 を参照

(3) 課 題

- 旧東海道沿いにおける歴史的資源を活かした景観形成
- 住民と一体となった景観づくり

(4) 施策の方向

歴史的景観資源を活かしたまち並みの再生

当該地区は品川区を代表する歴史的まち並みを有している。このような長い歳月をかけて形成された歴史的なまち並みは、個性と魅力を象徴する重要な景観であるため、重点的な保全と再生に努める。その際には、旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会やしながわ観光協会との協働により、景観形成事業を実施していく。また、勝島運河沿い等の修景整備による水と緑のネットワークの形成、密集住宅地での緑の確保も図る。

(5) 施 策

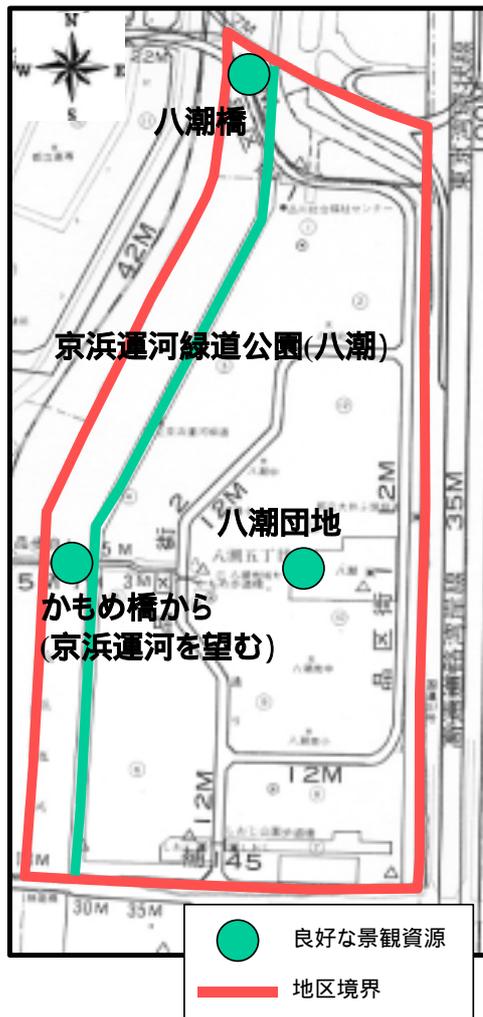
いま行なっている施策（いままで行なっている施策）

- みどりの条例を活用した保存樹木の指定
- 緑豊かなまちなみづくり事業（生垣助成）を活用した沿道緑化の推進
- 立会川緑道の整備
- 河岸護岸の整備（目黒川）

これから行なっていく施策

- 旧東海道品川宿周辺のまち並みの整備
- 電線類の地中化
- 歴史的建造物や史跡等の保全と活用
- 勝島運河緑道の整備
- 河岸護岸の整備（立会川）
- 既存のプロジェクトや関係団体との協働による景観づくり

8 . 八潮団地地区



【緑に囲まれた団地景観】



【京浜運河沿いの緑道公園】

(1) 景観特性

【歴史・文化】

- 戦後から始まった臨海部の大規模埋立整備により当地区は造成された。八潮団地は昭和 58 年から 5,000 戸以上が供給され、自然と調和した緑豊かな街として大規模集合住宅地が建設された。

【自然】

- 地区中央部に八潮公園（近隣公園）と南部にしおじ公園（近隣公園）が整備されている。
- 八潮団地周辺の運河緑道、京浜運河の眺望等は良質な景観資源となっている。
- 緑に囲まれた団地であり、緑被率は20%以上の高い値になっている。
- 品川区内では最も親水性の高い地区といえ、水辺空間の確保・整備を図っていく必要もある。

【生活】

- 団地中央内にはスーパーマーケット等の商業施設も整備されている。
- 歩車分離の考え方に基づいて計画的に整備されており、良好な居住環境を有している。

(2) 都市計画・まちづくりの構想など

- 品川八潮住宅一団地の住宅施設（都市計画）
- 臨海景観基本軸⁸（東京都景観条例）

景観資源および新たなまちづくり

景観資源		八潮橋、かめめ橋から（京浜運河を望む）、京浜運河緑道公園（八潮）、八潮団地
新たなまちづくり	まちの骨格	■ 水とみどりのネットワーク（八潮団地西側）
	拠点	-
	ゾーン	-

(3) 課題

- 親水性の高い空間の保全と新たな整備
- 現状の緑豊かな景観を維持・保全するための仕組みづくり
- 緑道の維持管理やまち角の公共スペースを活用した修景整備
- 駐車スペースの整備にあわせた緑化の推進

(4) 施策の方向

緑豊かな景観の維持・保全

当該地区の運河沿いの景観は東京を代表し、区民に安らぎを与えるものであり、今後とも重点的な保全と整備に努める。団地の住民組織と協働し、景観向上の啓蒙と景観形成事業を推進していく。

(5) 施策

いま行なっている施策（いままで行なっている施策）

- 駐車場整備に合わせた緑化の推進
- 運河沿いの護岸整備（親水性護岸整備）
- 運河沿い緑道の保全と眺望地点の整備

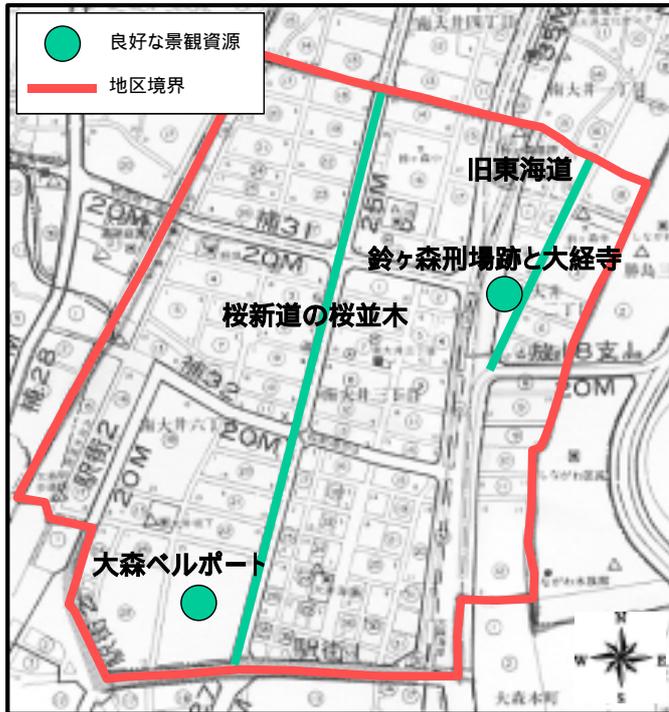
これから行なっていく施策

- 地区計画⁹による景観誘導
- まち角の公共スペースの修景整備
- 住民の景観意識の啓蒙
- 住民との協働による景観形成
- 区民の自主的なまちづくり活動への支援（緑化活動の展開）

⁸ 資料編 P.6～10 を参照

⁹ 資料編 P.4 を参照

9 . 南大井周辺地区



【大森ベルポート前の空地】



【大森ベルポート周辺】

(1) 景観特性

【歴史・文化】

- 北側の一部は大正期から昭和初期にかけて、南側は昭和初期にかけて市街化した。昭和 10 年代からは各種工場が多く立地した。ここ 10 年では、南側は工場からオフィスへの転換が進行し、事務所とマンションの混在地域となっている。
- 北側は大規模集合住宅の建設が進んでいるものの、旧来の工場や製作所も残っており、工場と住宅が混在している。
- 主な文化財は、桜新道の桜並木、鈴ヶ森刑場跡と大経寺があげられる。

【自然】

- 大きな公園緑地はなく、緑被率は 5～10% 未満である。
- 鈴ヶ森の刑場跡は、小規模ながら第一京浜沿いの貴重な緑として存在している。

【生活】

- 商業施設は桜新道通りに散在している。

【新たなまちづくり】

- 新たな景観資源として近代的な建築物の大森ベルポートがある。

(2) 都市計画・まちづくりの構想など

- 南大井六丁目特定街区
- 旧東海道品川宿周辺整備基本計画

景観資源および新たなまちづくり

景観資源		旧東海道、大森ベルポート、鈴ヶ森刑場跡と大経寺、桜新道の桜並木等
新たなまちづくり	まちの骨格	-
	拠点	■ 地域生活拠点（大森駅周辺）
	ゾーン	-

(3) 課 題

- 土地利用転換を考慮した質の高い都市型複合市街地としての景観形成
- 既成の市街地における接道部、屋上や壁面等の緑化の推進

(4) 施策の方向

既成市街地における目に映る緑の確保

既成市街地における雑多な景観を呈する当該地区では、目に映る緑を創出して潤いある景観形成に努める。

(5) 施 策

いま行なっている施策（いままで行なっている施策）

- みどりの条例を活用した保存樹木の指定
- 緑豊かなまちなみづくり事業（生垣助成）を活用した沿道緑化の推進
- 住宅敷地内の緑化推進
- オフィスビルや集合住宅の建設に合わせた緑とオープンスペースの確保
- 屋上や壁面等の緑化の推進

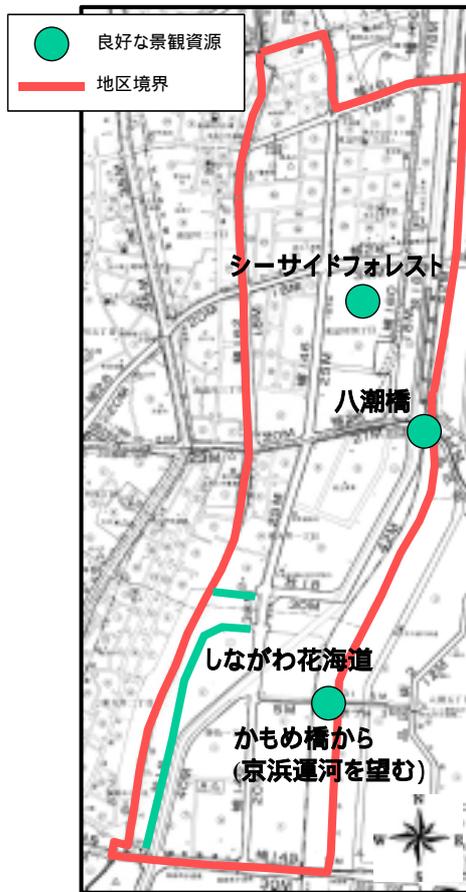
これから行なっていく施策

- 地区計画¹⁰や建築協定¹¹による景観誘導
- 桜新道の環境整備による水と緑のネットワークの形成

¹⁰ 資料編 P.4 を参照

¹¹ 資料編 P.5 を参照

10 . 東品川地区



【再開発により創出されたオープンスペース】



【東品川四丁目地区の再開発】

(1) 景観特性

【歴史・文化】

- 東品川三丁目から東大井一丁目では、戦前から終戦時にかけて埋め立てが進み、勝島は1961年～65年にかけて埋め立てが進んだ。
- 埋め立てと同時に大規模な機械・金属工場が立地し、昭和40年代後半まで工場街として機能した。
- ここ20年間で工場敷地の大規模集合住宅やオフィス等への転換が進んでいるが、未だに工業系の土地利用が主流である。

【自然】

- 主な文化財は見当たらないが、当地区の東側のかもめ橋から眺める京浜運河は、主な景観資源となっている。
- 主な公園緑地としては、天王洲地区の開発に伴って整備された天王洲公園（近隣公園）その他東品川公園、鮫洲運動公園等の大きな公園がある。緑被率は5～10%未満である。
- 再開発で創出されたオープンスペースは、景観向上に寄与している。

【生活】

- 商店街は青物横丁周辺のみで、ほとんどは他地区に依存している。

【新たなまちづくり】

- 東品川四丁目地区の再開発建築物は、地区のランドマークである。

(2) 都市計画・まちづくりの構想など

- 東品川四丁目地区地区計画
- 臨海景観基本軸¹²（東京都景観条例）

景観資源および新たなまちづくり

景観資源	八潮橋、かもめ橋から（京浜運河を望む）、シーサイドフォレスト、しながわ花海道	
新たなまちづくり	まちの骨格	■ 水とみどりのネットワーク （京浜運河沿い、目黒川沿い、立会川沿い）
	拠点	■ 地域生活拠点（品川シーサイド駅周辺）
	ゾーン	■ 居住推進ゾーン（品川シーサイド駅周辺）

(3) 課 題

- 土地利用転換を考慮した質の高い都市型複合市街地としての景観形成
- 今後の開発プロジェクトでの緑やオープンスペースの確保
- 既成の市街地における接道部、屋上や壁面等の緑化の推進

(4) 施策の方向

質の高い都市型複合市街地としての景観形成

今後予定される再開発プロジェクトに合わせて、緑とオープンスペースの確保を中心とした景観形成を図っていく。既成市街地では、接道部、屋上や壁面を対象とした緑化を推進していく。

(5) 施 策

いま行なっている施策（いままで行なっている施策）

- みどりの条例を活用した保存樹木の指定
- 緑豊かなまちなみづくり事業（生垣助成）を活用した沿道緑化の推進
- 屋上や壁面等の緑化の推進
- 住宅敷地内の緑化推進
- 地区計画¹³や建築協定¹⁴による景観誘導
- 品川シーサイド駅周辺地区整備に応じた景観配慮

これから行なっていく施策

- 緑道の整備（勝浦運河緑道）

¹² 資料編 P.6～10 を参照

¹³ 資料編 P.4 を参照

¹⁴ 資料編 P.5 を参照

1 1 . 広町一丁目周辺地区



【赤レンガ造りのボイラー工場】



【目黒川沿いの植樹】

(1) 景観特性

【歴史・文化】

- 明治後期頃から市街化がはじまり、その後も大規模な工場が集積した。
- 京浜東北線の地区をはじめとして、徐々に住宅等も建設されるようになったが、現在でも主要な土地利用は専用工場・作業所である。
- 最近では、空き地や駐車場が中高層集合住宅へ転用する例もみられる。
- 主な文化財として享保二十一年銘道標が、主な景観資源として赤レンガ造りのボイラー工場があげられる。

【自然】

- 緑のほとんどは工場及び企業内の緑であり、緑被率は 5～10%未満である。

(2) 都市計画・まちづくりの構想など

-

景観資源および新たなまちづくり

景観資源		赤レンガ造りのボイラー工場、工場周辺の植栽帯
新たなまちづくり	まちの骨格	-
	拠点	-
	ゾーン	-

(3) 課 題

- 工場緑化等の推進による潤いある工業地景観の創出

(4) 施策の方向

垣、柵の緑化等の推進による潤いある工場地景観の創出

当該地区は工場を中心とした景観を呈しており、特徴的な景観資源も少ない。このため、垣・柵を中心とした工場緑化を推進し、潤いのある工場地景観の創出に努める。

(5) 施 策

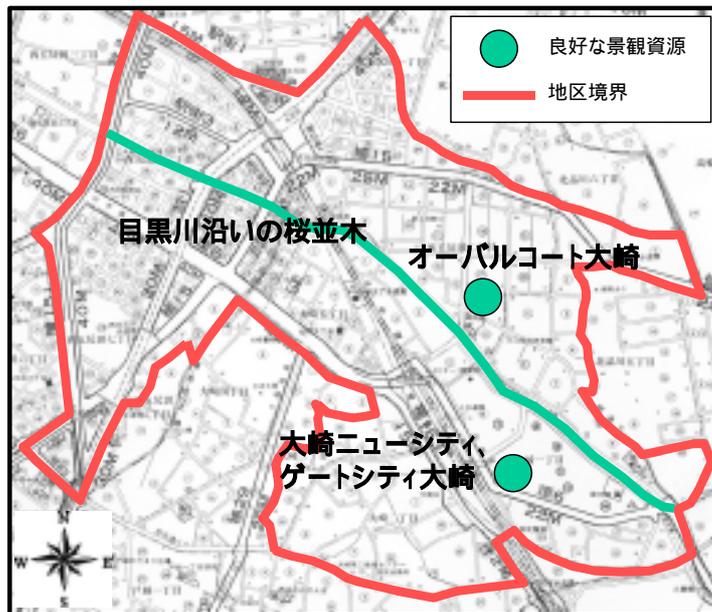
いま行なっている施策（いままで行なっている施策）

- みどりの条例を活用した緑化の推進

これから行なっていく施策

- 企業との協働による緑化の推進

12. 大崎・五反田地区



(1) 景観特性

【歴史・文化】

- 街道沿いは明治後期に既に市街化しており、その周辺は大正から昭和初期にかけて市街化が進展した。
- 昭和10年頃には五反田駅周辺にも工場が集積し、目黒川沿いの一帯は一大工業地帯となった。当該地区は東京都の副都心整備計画に位置づけられており、工場からオフィス・中高層集合住宅への建て替えが続いている。
- 主な景観資源として目黒川沿いの桜並木、大崎ニューシティ・ゲートシティ大崎、オーバルコート大崎があげられる。

【自然】

- 公園緑地は少ないが、再開発事業に合わせて整備した居木橋公園(新設)、御成橋公園(拡張)がある。
- 緑被率は5~10%未満である。

【生活】

- 商業機能は両駅前地区及び大崎ニューシティ・ゲートシティ大崎の新たに開発されたビルの中に多数の店舗が存在する。

【新たなまちづくり】

- 東京都の副都心整備計画の一つに位置づけられた近代都市であり、質の高いデザインの建築物や周辺の修景施設が存在し、中央にある目黒川と相まって目を引く景観スポットとなっている。
- 今後も大規模な再開発計画が順次見込まれている。

(2) 都市計画・まちづくりの構想など

- 大崎駅東口第1地区高度利用地区
- 大崎駅東口第2地区地区計画
- 大崎駅東口第3地区地区計画
- 大崎駅西口地区地区計画
- 東五反田二丁目第1地区地区計画
- 東五反田二丁目地区更新計画
- 大崎駅周辺地域都市再生ビジョン

景観資源および新たなまちづくり

景観資源		目黒川沿いの桜並木、大崎ニューシティ・ゲートシティ大崎、オーバルコート大崎
新たなまちづくり	まちの骨格	■ 水とみどりのネットワーク（目黒川沿い）
	拠点	■ 都市活性化拠点（大崎、五反田、東五反田）
	ゾーン	■ 居住推進ゾーン（東五反田、大崎） ■ にぎわいゾーン（五反田駅周辺）

(3) 課題

- 再開発等によって生み出された近代的な都市景観と水や緑等の景観資源との調和と融合
- 都市活性化拠点やゾーンを有機的につなぐ水と緑のネットワークの形成

(4) 施策の方向

近代的な都市景観と周辺景観との調和

多様な開発プロジェクトの開発方針に応じて、近代的な都市景観を形成する一方、屋外広告物の規制を行うなど、洗練されたデザインの建物群と周辺景観との調和、環境負荷に配慮した景観づくりに努める。

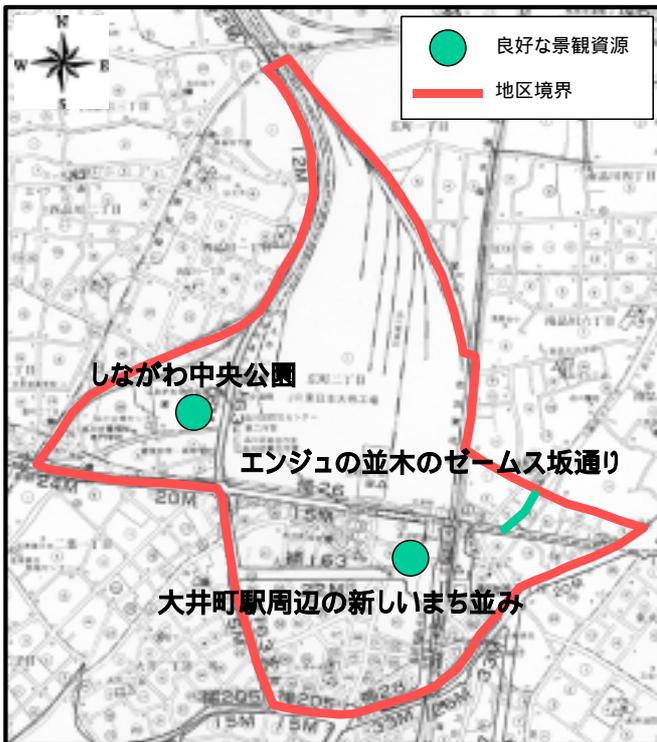
(5) 施策

いま行なっている施策（いままで行なっている施策）

- みどりの条例を活用した保存樹木の指定
 - 環境負荷に配慮した屋上等の緑化の推進
 - 住宅敷地内の緑化推進
 - 目黒川の水辺空間の整備
 - 地区計画¹⁵による景観誘導
 - 大崎駅周辺地区整備（東口、西口）に合わせた景観配慮
- これから行なっていく施策
- 大崎駅周辺地域都市再生ビジョンによる駅周辺の景観整備

¹⁵ 資料編 P.4 を参照

13. 大井町駅周辺地区



【大井町駅西口広場】



【高架下の新店舗】

(1) 景観特性

【歴史・文化】

- 大井町駅周辺は、大正時代までは大規模工場が立地していたが、昭和にはいると旧品川区時代からの商業の中心地として発展し、現在に至っている。
- 大井町駅は、駅ビルの建設や再開発が進み商業拠点として成長したが、昔ながらの飲屋街や裏路地などの空間も多く残っている。
- 主な景観資源として大井町駅周辺の新しいまち並み、エンジュの並木のゼームス坂通りがあげられる。また、荏原七副神の一つ、大井蔵王権現神社がある。

【自然】

- しながわ中央公園（近隣公園）が区役所に隣接し整備され、スポーツ広場と児童向け広場が配置されている。
- 緑被率は5～10%未満である。

【生活】

- 商業施設は大井町駅周辺に集積している。
- 4つの第一種大型店をはじめとして、駅前商店街が放射状に配置し、区内でも有数の界限性を有している。
- 昔ながらの飲屋街等もあり、庶民のまちという印象も強い。
- 補助26号線沿道は、東急線高架下の新店舗などにより新たなイメージが創出されている。

(2) 都市計画・まちづくりの構想など

- 大井町駅東口第一地区高度利用地区
- 大井町駅西口D-1地区高度利用地区
- 大井町駅周辺地区再開発構想
- 大井町駅周辺地区大規模建築物等色彩基本構想
- 旧国鉄大井工場地区大井プレイス構想

景観資源および新たなまちづくり

景観資源	大井町駅周辺の新しいまち並み、エンジュの並木のゼームス坂通り、しながわ中央公園	
新たなまちづくり	まちの骨格	■ 水とみどりのネットワーク（補助26号線）
	拠点	■ 都市活性化拠点（大井町駅）
	ゾーン	■ 居住推進ゾーン（大井町駅周辺、JR大井工場） ■ いこいのゾーン（しながわ中央公園） ■ にぎわいゾーン（大井町駅周辺）

(3) 課題

- 近代的な都市景観の形成
- 昔ながらの賑わい景観の保全と向上

(4) 施策の方向

区の顔となる都市景観の形成

当該地区は品川区の玄関の顔となる空間であり、風格を感じる景観創造を展開する。駅前には都市的な雰囲気と軒を連ねる居酒屋街など庶民的な雰囲気など多様な空間があり、これらを共に活かした景観形成に努める。また、積極的な緑化を推進するなど、環境に配慮した景観づくりも推進する。

(5) 施策

いま行なっている施策（いままで行なっている施策）

- みどりの条例を活用した保存樹木の指定
- 環境負荷に配慮した屋上等の緑化の推進
- 公共施設の緑化推進
- 住宅敷地内の緑化推進
- デザインコード¹⁶の適用による景観形成
- 高度利用地区によるオープンスペースの確保
- 大井町駅周辺地区整備に合わせた景観配慮

これから行なっていく施策

- 地区計画¹⁷や建築協定¹⁸による景観誘導
- プランター等による緑化推進

¹⁶ デザインするための基本となる方針や基準

¹⁷ 資料編 P.4 を参照

¹⁸ 資料編 P.5 を参照

14 . 天王洲地区



【親水性の高いデッキボード】



【近代的都市景観】

(1) 景観特性

【歴史・文化】

- 1930年代以降、第二次世界大戦終了時まで埋め立てられた地区で、当初は工場、倉庫が立ち並んでいた。
- 昭和63年の「天王洲総合開発協議会」の設立を契機に開発がスタートし、大規模な商業施設や文化施設が複合する高次の多機能市街地へと転換した。
- 昭和10年代に始まった埋立て芝浦運河が形成され、運河沿いの天王洲アイルのまち並みとボードウォークは主要な景観資源となっている。

【自然】

- 公園は天王洲再開発地区の端部に位置する天王洲公園（近隣公園）、東品川海上公園等が整備され、近代的な夜景が楽しめる。
- 緑被率は10%以上となっている。

(2) 都市計画・まちづくりの構想など

- 東品川二丁目地区地区計画
- 臨海景観基本軸¹⁹（東京都景観条例）

景観資源および新たなまちづくり

景観資源		天王洲アイルのボードウォーク、東品川海上公園、天王洲アイルのまち並み
新たなまちづくり	まちの骨格	■ 水とみどりのネットワーク（天王洲運河・京浜運河沿い）
	拠点	■ 都市活性化拠点（天王洲）
	ゾーン	■ 居住推進ゾーン（天王洲アイル駅周辺） ■ いこいのゾーン（東品川海上公園）

(3) 課 題

- 再開発等によって生み出された近代的な都市景観と水や緑等の景観資源との調和と融合
- 都市活性化拠点やゾーンを有機的につなぐ水と緑のネットワークの形成

(4) 施策の方向

近代的な都市景観とウォーターフロント景観の向上

再開発で生み出された近代的都市景観とウォーターフロント景観のさらなる向上と、環境負荷の軽減を意識した景観創造を図る。

(5) 施 策

いま行なっている施策（いままで行なっている施策）

- 地区計画²⁰による景観誘導
 - デザインコード²¹の適用による景観形成
 - 天王洲地区整備に応じた景観配慮
 - 東品川海上公園の整備に応じた景観配慮
 - 環境負荷に配慮した屋上等の緑化の推進
- これから行なっていく施策
- 運河を活用したアミューズメントエリアの整備

¹⁹ 資料編 P.6～10 を参照

²⁰ 資料編 P.4 を参照

²¹ デザインするための基本となる方針や基準

15. 目黒駅周辺地区



【街路樹と既存樹により緑に覆われた沿道】



【高速道路の向こうには教育園の緑が見える】

(1) 景観特性

【歴史・文化】

- 明治 18 年の駅開業とともに市街化し、その後大正、昭和初期にかけて周辺の住宅地も市街化した。
- ここ 20 年は駅前を除き土地利用等に大きな変化はないが、比較的規模の大きな戸建て住宅の不燃化や中層マンション化等がみられる。
- 主な文化財としては、土浦家住宅、旧白金御料地、誕生八幡神社のイチョウが、主な景観資源として花房山の桜並木、目黒川沿いの桜並木があげられる。

【自然】

- 公園緑地はほとんど無いが、地区の西側に白金公園が広がる。
- 地形が変化に富んでおり、市街地景観にアクセントを与えている。

【生活】

- 商業機能は目黒駅周辺に集積している。
- 駅の後背地には、花房山や白金台など敷地が広く、緑が豊富で閑静な住宅地が広がっている。

(2) 都市計画・まちづくりの構想など

- 西五反田三丁目地区地区計画
- 目黒駅周辺地区トライスクエア構想

景観資源および新たなまちづくり

景観資源		花房山の桜並木、目黒川沿いの桜並木
新たなまちづくり	まちの骨格	■ 水とみどりのネットワーク (JR 山手線・東急目黒線沿い、東急目黒線沿い)
	拠点	■ 地域生活拠点(目黒駅周辺)
	ゾーン	■ 居住推進ゾーン(目黒、荏原市場跡) ■ いこいのゾーン(国立自然教育園)

(3) 課 題

- 水とみどりのネットワークとして結びつけ有機的に連携した景観の形成
- 賑わいと活気のある商業地景観の保全
- 良好な住宅地景観の保全と起伏を活かした市街地景観の形成
- 再開発地区以外の密集市街地における緑の創出

(4) 施策の方向

駅前の賑わい景観の形成と住宅地景観の保全

駅前の賑わい空間としての魅力的な景観づくりを行う。また、周辺部のまとまりのある緑地を背景とした住宅地景観の保全・形成に努める。

(5) 施 策

いま行なっている施策(いままで行なっている施策)

- みどりの条例を活用した保存樹木の指定
- 住宅敷地内の緑化推進
- 商店街の修景整備
- 架空線の地中化
- 目黒線上部の緑道整備
- 西五反田三丁目地区整備に応じた景観配慮

これから行なっていく施策

- 地区計画²²による景観誘導
- 斜面緑地の保全

²² 資料編 P.4 を参照

16 . 武蔵小山駅周辺地区



【武蔵小山商店街パルム】



【ビルの一隅にある地蔵尊】

(1) 景観特性

【歴史・文化】

- 目黒線の開通とともに昭和初期に急速に市街化が進んだ。
- 駅前から続くアーケード街は日本初のもので全国各地のモデルとなった。
- 比較的大きな敷地は、中高層住宅への建て替えがみられるが、基本的な用途構成にはあまり変化がみられない。また、商店街は継続して商売を続けている人が多く、商業ビルへの転換はみられない。

【自然】

- 主な文化財、公園緑地は少なく、緑被率は5%未満となっている。

【生活】

- 商業施設は、都内でも有名な武蔵小山パルム商店街があり、活発な商業活動が展開されている。
- 大規模アーケードの商店街を中心に、賑わい空間を形成している。非常に活気あるまち並みであり、看板なども統一されている。
- 商店街の周辺は、木造の商店や住宅が密集している。

(2) 都市計画・まちづくりの構想など

- 補助 26 号線地区都市防災不燃化促進事業
- 荏原北西五反田地区防災生活圏促進事業
- 武蔵小山駅東地区街並み再生地区
(東京のしゃれた街並みづくり推進条例²³)

景観資源および新たなまちづくり

景観資源	武蔵小山パルム商店街	
新たなまちづくり	まちの骨格	■ 水とみどりのネットワーク(東急目黒線沿い)
	拠点	■ 地域生活拠点(武蔵小山駅周辺)
	ゾーン	■ 居住推進ゾーン(武蔵小山駅周辺) ■ にぎわいゾーン(武蔵小山～西小山)

(3) 課 題

- 水とみどりのネットワークとして結びつけ有機的に連携した景観の形成
- 賑わいと活気のある商業地景観の保全とアーケード入り口の修景向上
- 良好な住宅地景観の保全と起伏を活かした市街地景観の形成
- 再開発地区以外の密集市街地における緑の創出

(4) 施策の方向

賑わいと活気ある商業地景観の保全と創出

商店街の賑わい空間として、歩いて楽しい演出や修景などを行い、来街者にとっても魅力的な景観づくりを行う。また接道部の緑化推進(生け垣、駐車場活用など)による周辺の住宅地景観の景観形成に努める。

(5) 施 策

いま行なっている施策(いままで行なっている施策)

- みどりの条例を活用した保存樹木の指定
- 住宅敷地内の緑化推進
- 商店街の修景整備
- 武蔵小山駅前広場の整備に応じた景観配慮
- パルム憲章に基づく景観誘導の継続

これから行なっていく施策

- 架空線の地中化
- 武蔵小山駅東地区の整備に伴う景観形成

²³ 資料編 P.11～12 を参照

17. 西大井駅周辺地区



【駅前の住居棟の建設】



【駅前通りの並木】

(1) 景観特性

【歴史・文化】

- 明治後期から大正にかけて市街化された比較的古い市街地である。
- 大正の末期から昭和にかけて工場の立地が進み、現在でも西大井駅の後背地には大規模な工場・研究所がある。

【自然】

- 公園緑地は西大井駅前に西大井広場公園（近隣公園）が立会道路を南北に広がり配置している。
- 再開発された駅前では、オープンスペースが確保され、住居ビルなども立ち並び、都市の核が形成されつつある。
- 一方、再開発地区以外は密集した市街地景観を呈しており、潤いを感じられる緑も少ない。

【生活】

- 商業機能は西大井駅を挟み二葉一丁目から二葉四丁目へ続く沿道に配置されている。

(2) 都市計画・まちづくりの構想など

- 西大井一丁目地区高度利用地区
- 西大井駅前南地区高度利用地区
- 西大井駅周辺地区地区計画

景観資源および新たなまちづくり

景観資源		西大井町駅とその周辺
新たなまちづくり	まちの骨格	■ 水とみどりのネットワーク（大井町駅～西大井駅）
	拠点	■ 地域生活拠点（西大井駅周辺）
	ゾーン	■ 居住推進ゾーン（西大井駅周辺）

(3) 課 題

- 水とみどりのネットワークとして結びつけ有機的に連携した景観の形成
- 良好な住宅地景観の保全と市街地景観の形成
- 再開発地区以外の密集市街地における緑を創出

(4) 施策の方向

密集市街地における目に映えるも緑の創出

再開発地区を拠点とした景観向上に努めつつ、それ以外の密集市街地における緑を創出し潤いのある景観形成に努める。

(5) 施 策

いま行なっている施策（いままで行なっている施策）

- みどりの条例を活用した保存樹木の指定
- 地区計画²⁴や建築協定²⁵による景観誘導
- 緑豊かなまちなみづくり事業（生垣助成）を活用した沿道緑化の推進
- 住宅敷地内の緑化推進
- 電線類の地中化

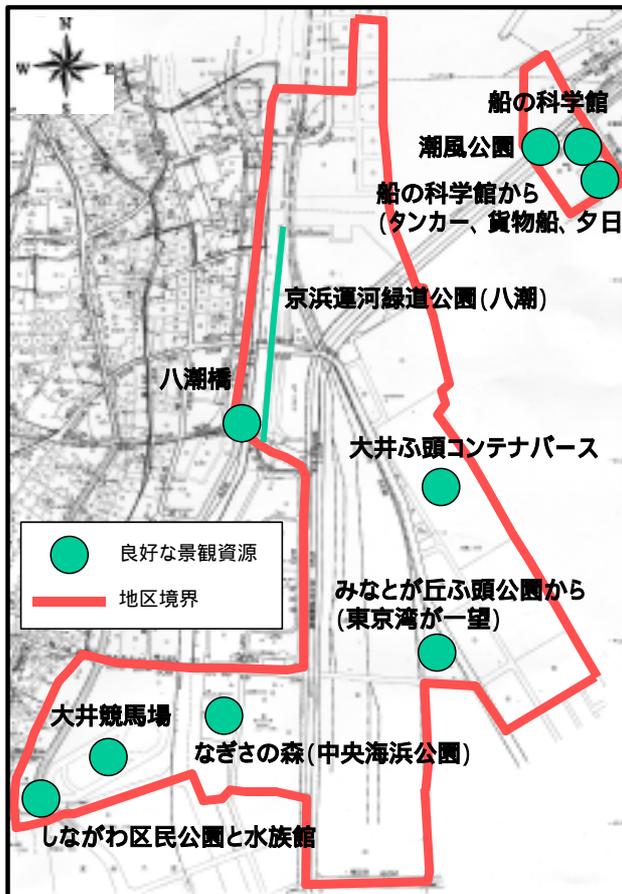
これから行なっていく施策

- 区民の自主的なまちづくり活動への支援（緑化活動の展開）

²⁴ 資料編 P.4 を参照

²⁵ 資料編 P.5 を参照

18 臨海部埋立地区



【緩衝緑地ともなっているのしながわ区民公園の緑】



【勝島橋から大井ふ頭中央公園を見る】

(1) 景観特性

【歴史・文化】

- 戦後から区内北東部の東品川5丁目（品川埠頭）と八潮1～5丁目（大井埠頭）の埋め立て整備が南下し、昭和45年（1970年）には今の品川区の原型となった。
- 火力発電所等の国内施設ばかりでなく、国際的な物流や港湾機能に対応する様々な施設も立地している。
- 大井ふ頭と勝島の埋め立てにより、京浜運河と勝島運河が生まれ、水上交通にも活用されていた。その後昭和52年から56年にかけて一部が埋め立てられ「しながわ区民公園」として整備された。また、対岸の臨海部副都心地域の埋立てがなされた後、潮風公園がある東八潮地区が品川区に編入された。

【自然】

- 区を代表するしながわ区民公園（総合公園）と水族館、なぎさの森（大井ふ頭中央海浜公園：総合公園）対岸には船の科学館・潮風公園（特殊公園）がある。
- その他、京浜運河緑道公園（近隣公園）大井ふ頭緑道公園など自然観察や水辺景観を楽しみながら散策できる空間が多く整備され、緑被率は10～20%以上の値となっている。

- 主な景観資源として大井ふ頭のコンテナバース、大井競馬場（夜のトゥインクル・レース）がある。

(2) 都市計画・まちづくりの構想など

- 臨海副都心台場地区地区計画
- 臨海副都心青海地区地区計画
- 東品川五丁目地区地区計画
- 臨海景観基本軸²⁶（東京都景観条例）

景観資源および新たなまちづくり

景観資源		船の科学館、大井ふ頭コンテナバース、大井競馬場、潮風公園、なぎさの森(中央海浜公園)、しながわ区民公園と水族館、八潮橋、京浜運河緑道公園（八潮）、船の科学館から（タンカー、貨物船、夕日）、みなとが丘ふ頭公園から（東京湾一望）
新たなまちづくり	まちの骨格	■ 水とみどりのネットワーク （天王洲運河・京浜運河沿い、立会道路沿い、水上バスルート）
	拠点	-
	ゾーン	■ いこいのゾーン（区民公園、大井競馬場、潮風公園、みなとが丘ふ頭公園、中央海浜公園）

(3) 課題

- 現在の良好なウォーターフロント景観の保全
- 親水性の高い水辺景観の創出、各いこいのゾーンを有機的に結びつける水とみどりのネットワークの整備
- 未利用地の一時利用等を踏まえた景観形成

(4) 施策の方向

安らぎを感じる水辺空間の保全と整備

臨海部の大規模な緑地の保全と活用とともに、都の景観づくり基本方針に位置づけられており、東京都との連携による水辺景観の創造を図る。

(5) 施策

いま行なっている施策（いままで行なっている施策）

- 大規模公園の保全と修景整備
- 工場緑化の推進
- 運河沿いの護岸整備

これから行なっていく施策

- 未利用地の活用
- 工場・倉庫の修景整備

²⁶ 資料編 P.6～10 を参照